



## 二度と事故は起こさない!! 安全は毎日の積み重ね

事故のあった天井クレーンの説明を聞く参加者

10月28日(火)、連合鳥取「第10回セイフティネットワーク集会」をJR後藤総合車両所で19人参加のもと開催しました。JR西日本は福知山線脱線事故以降、安全対策を何よりも最優先で取り組んでいる企業であり、特に車両管理、検査、修繕が日常どのように行われているのか、興味ある内容でした。

◇JR境線に乗り、企業訪問  
当日は米子駅に集合して境線に乗車し、富士見町駅で降車しました。米子駅では境線乗り場でちょうど車イスのお客様が降車される場所であり、JR社員のみなさんがどういう対応ができたのか、間近で見ることができました。駅社員2人があらかじめホームでスロープを持参し、列車が着くのを待っておられ、列車が着くと一般のお客様が降車された後、車イスのお客様が案内し、スロープを使って安全に誘導されていました。安全に対する社員の姿勢に触れることができました。

◇主催者あいさつ  
後藤総合車両所の会議室において、主催者を代表して、五十嵐会長より「交通運輸産業は特に安全が何よりも大事。日々どう安全に對してこだわりをもって業務を遂行しておられるのかを学びたい。」とあいさつしました。

◇工場見学  
工場見学の前に「安全考動室」を見学しました。「安全考動室」とは、過去の事故の新聞写真、対策等、また、2011年の重大労災死亡事故の概要等が展示してあり、社員の安全意識の向上、風化防止の一環として作られたという説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

◇安全衛生活動の取り組みと意見交換  
リスクアセスメントの取り組み内容について、重大労災以降、リスク抽出件数は551件、そのうち対策完了が316件(57%)であり、重大労災に至る可能性がある作業を優先的に対策しているとの説明がありました。

## 交流の継続と発展のため努力することを再確認

### —中国・吉林省総工会招聘—

連合鳥取は、国際化時代における労働分野の視野・見識を広げる立場から、2000年より中国・吉林省総工会と友好交流協定を結び相互交流を行っています。

今年は、吉林省総工会〔団長 田立新(ティエン リーシン)副主席を含め5名〕を10月19日(日)～10月23日(木)の日程で招聘しました。

一行は10月20日(月)、連合本部において古賀会長と意見交換を行った後、来鳥されました。

最初に鳥取県庁を表敬訪問し、林 昭男鳥取県副知事より「鳥取県も吉林省と交流協定を結び、経済・産業・農業・文化等の交流を図っている。」との説明を受け、熱烈な歓迎を受けました。

その後、連合鳥取企画委員会メンバーとの意見交換を行いました。冒頭、五十嵐会長から訪日団の訪問に歓迎の意を表明し、「今後のさらなる両組織の友好交流が発展することを願っている。」とあいさつしました。総工会を代表して田立新団長は「この交流を通じて、両者の組合活動の推進が図られ、さらに幅広く高いレベルで私たちの活動が促進されていくことを祈念する。また、中国の市場経済はかなりのスピードで発展してきており、両国組合士の交流の必要性が高まってきたのを痛感している。私たちはみなさんと交流できることを感謝している。」と述べられました。

意見交換では、総工会からは「組合の組織拡大はどのように行っているか」、また「労働争議はどのように対応しているか」の質問がありました。連合鳥取からは、「鉄道の安全確立について組合としてどう対応しているか」、「中国の貨物輸送事情」についての質問がされました。それぞれの担当局長が説明し、お互いの情勢認識を深めることができ、限られた時間の中ではありましたが、活発な意見交換の場となりました。

両会は友好交流協定を締結して以来14年間、相互に信頼出来る友好関係を確立し、交流促進に努めてきました。双方の努力の下で、我々の友誼の樹は着実に育んでおり、今後もこの大事な友好関係を大切にし、双方の交流の継続と発展のため努力をしていきたいと考えています。



鳥取県表敬訪問  
(左から3番目・林昭男副知事)



意見交換会であいさつする総工会団長(中央・女性)



記念品を手渡す五十嵐会長(左)と訪日団

## 大山の豊かな自然を守ろう！

### —青年委員会「列島クリーンキャンペーン」を実施—

9月27日(土)、連合鳥取青年委員会は32人が参加し「列島クリーンキャンペーン」活動として大山登山と交流会を行いました。

大山登山においては、大山の自然を守るため「一木一石運動」を行い、参加者全員が大山から崩落した石を持って山頂をめざしました。当日は天候も良く、山頂付近では非常に綺麗な景色を眺めることができました。

参加者全員で協力しながら登山し無事全員が下山できたこと、また「ホテル大山しろがね」に宿泊して開催した「交流会」で普段なかなか接点のない違う産別のみなさんと意見交換ができたことで非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今回の企画では、女性の参加者は非常に少なかったですが、今後は、女性の方もより参加しやすい企画を考えていきたいと思えます。今後とも連合鳥取青年委員会の活動・企画に積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

(寄稿 青年委員会幹事 吉野知宏さん)



はげましあいながら登る参加者



山頂にて

# 鳥取高退連2015年度活動スタート! —「第22回定期総会」他開催—

【全県学習会】 総会前段に45人の参加のもと、日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)の菅井義夫事務局次長を講師に迎え、「新たな介護保険制度の問題点」と題した講演会を開催しました。

【第22回定期総会】 9月30日(火)「水明荘(湯梨浜町)」において46人(代議員27人執行部16人傍聴3人)と来賓4人が参加して「第22回定期総会」を開催しました。本総会では、2014年度の活動の総括と2015年度の活動方針を確認するとともに、齋木兵治会長(再任)をはじめとする新年度役員を選出しました。

【第20回グラウンドゴルフ大会】 10月10日(金)、雲一つない晴天のもと鳥取市の布勢運動公園に総勢136人が集い開催しました。

プロ級の人から道具を借用してがんばる人までと格段の差がありましたが、いずれの組も和気あいあいと楽しくプレーしました。

賞品は東部地区で採れる農産物を中心に準備し、個人の“飛賞”は机上に置いている品物を各自が選択するという新方式で楽しんでいただきました。選手のみなさんは来年の再会を誓い合っていました。



学習会の様子



定期総会/新年度役員あいさつ



グラウンドゴルフ大会

成 績	■団体戦/8組織19チーム参加				■個人戦/133人参加 (敬称略)			
		打数	ホールインワウ	2打		打数	ホールインワウ	2打
優 勝	情報労連B	234打	1本	53本	優 勝	木村幸且(情報労連)	33打	1本 10本
準優勝	J P 労組鳥取連協E	241打	2本	43本	準優勝	武田光央(J P 労組)	35打	1本 9本
第3位	自治体退職者会B	243打	3本	36本	第3位	永田直幸(J P 労組)	35打	1本 8本

(グラウンドゴルフ大会 寄稿 鳥取高退連副会長 前土居一泰さん)

## 「連合鳥取・連合島根女性委員会2014合同研修会」に参加

10月18日(土)~19日(日)に「いきいきプラザ島根(松江市)」にて、「連合鳥取・連合島根女性委員会2014合同研修会」が行われました。

両委員会のネットワーク強化と女性の活躍促進を考える場として開催した研修会に鳥取から9人、島根から11人の役員が集まりました。

1日目の前半は、まずアイスブレイクで参加者同士が打ち解けた雰囲気をつくり出し、次にヨガ体験でリラックス法を学び、心身をゆっくりケアしていきました。後半では、労働組合への女性参画について、パナソニックグループ労組連合会 副中央執行委員長の矢田稚子さんより「労働組合への女性参画について」と題し、自分の体験をもとに講演いただきました。男女共生推進からダイバーシティへ向けてのパナソニックグループ労連の先進的な政策や取り組みについてお話いただき、家事や育児をしながらキャリアを積み、また組合活動にも参画していくための視点やヒントを得る機会となりました。

2日目は出雲大社を参拝し、昼食にはマクロビという体にやさしい食事をいただきました。

今回の研修会を通して「心と体」がリフレッシュし、両委員会『縁』をさらに深めることができました。

(寄稿 女性委員会副委員長 廣松千里さん)



ヨガ体験



講演の様子  
(写真上 講師/矢田さん)

## Information

過労死等  
防止対策  
推進法  
11月1日  
施行

### 過重労働対策には労働組合の役割が重要です!

#### ○職場の36協定の遵守状況を点検しましょう!

- ①あなたの職場ではどのような内容の36協定が締結されていますか?
- ②800時間を超えるような特別条項付の協定が締結されていませんか?

※調査によると800時間超の上限時間数を規定した特別条項付き36協定の割合は15.0%、1,000時間超の割合は1.2%となっています。

点検結果を踏まえ、36協定等における延長時間を縮減するなど、長時間労働促成策に取り組みましょう。



連合のゆるキャラ  
ユニオニオン

連合は本年11月を「連合 過労死等防止啓発特別行動月間」と位置づけ、過労死等を出させない宣言の採択などを行います。

# 今こそ全国各地が一丸となるとき!

## 一労働者保護ルール改悪阻止一 全国縦断アピールリレー展開中



連合鳥根からタスキを受け取る(10月17日)



街頭で訴える五十嵐会長(米子市内)



連合岡山へ引き継ぎ(10月19日)

連合は、「生涯派遣で低賃金を払拭」「残業代ゼロより過労死ゼロ」をスローガンに掲げた労働者保護ルール改悪阻止に取り組み、広く国民にも労働者保護ルールを遵守する

ことの必要性を訴える「全国縦断アピールリレー」を9月25日(木)スタートしました。連合北海道から東京をめざす東ルートと、連合沖縄から九州、中国、四国…とめぐり東京をめざす西ルートを設定し、12月5日(金)開催予定の「労働者保護ルール改悪阻止 全国集会」まで全国47都道府県でメッセージ発信をしていきます。

西ルートの鳥取県は、10月17日(金)、鳥根県との県境となる「江島大橋」(通称「ベタ踏み坂」)の頂上で、連合鳥根・仲田敏幸会長から連合鳥取・五十嵐美知義会長をはじめとする専従役員がタスキやノボリ旗を受け取り、早速、境港市・米子市内各所で街宣し、街頭で市民のみなさんへ主旨を訴えました。

18日(土)も中部・東部地域を街宣車で移動しながら訴え、19日(日)は連合岡山北部地域協議会・美作地区協議会事務所(岡山県津山市)まで街宣を行いながら移動し、同議長の牧尾規男議長へタスキ等を手渡しました。

12月5日(金)には中央の集会に合わせ「鳥取県集会」を開催します。みなさまの積極的なご参加をお願いします。

## “ザ・議員”

### 伊藤 保 鳥取県議会議員

今、私は、県議会福祉生活病院常任委員会の委員長をさせていただきます。昨年9月議会での「手話言語条例」に始まり、今年の2月県議会での「子育て王国とっとり条例」、9月県議会では「薬物の濫用の防止に関する条例の一部改正」と全国でも初めての条例の審議を次々任せられ、議員のみなさんに白熱した議論をしていただきましたが、最後はすべて、成立させることができました。

「手話言語条例」の反響も大きかったわけですが、9月県議会での「薬物の濫用の防止に関する条例の一部改正」については、マスコミの関心も高く、慎重な運用を求め一方、国へ法整備を求める意見書を賛成全員で可決しました。



議会の一般質問で手話によるあいさつ

小さな支えが大きな安心  
子育て王国 鳥取県

#### 鳥取県薬物の濫用の防止に関する条例

<お問い合わせ先> 鳥取県福祉保健部健康医療局医療指導課  
電話 / 0857-26-7203 電子メール / iryoushidou@pref.tottori.jp  
詳しくはホームページをご覧ください。 / <http://pref.tottori.lg.jp/iryoushidou/>



### 福間 裕隆 鳥取県議会議員

2014年9月24日、鳥取県議会会派「絆」の代表質問として登壇しました。「現在の自民党農政は農業の産業化のもとに農地の集積を計り、企業の参入を計る一方で、中山山地の農業・農村の切り捨てを一層強いることが懸念されること」「鳥取県農業の位置づけ」等の農業問題について、平井鳥取県知事の見解を質しました。質問作成にあたって、連合の広報機関誌「連合」の中の記事を活用させていただきました。

また、企業誘致、雇用創造にあたっては、良質の労働環境を確保すること、さらには県内の町立病院への支援、医師・看護師など医療従事者の離職を防止し、地域の医療人材を確保するため「医療勤務環境改善支援センター」の設置を求め、新年度での設置に向けて検討に入るといふ知事答弁を得ました。

今後も引き続き、「働くこと」「働く人」を尊重する社会をつくるために全力投球します。



代表質問の様子

(食職守)

紅葉が美しい季節になりました。日本の四季は人の心も彩り、気持ちも変化させていきます。秋から冬に変われば、なんともなくさみしい気持ちになる方も増えることでしょう。▼そのさみしさをどう楽しそうにさせるか、人それぞれだと思えますが、この頃、歳のせいか、世代の違いなのか、私から見ると、若い世代の方は、個として行動されている人が多く、行動に受けられます。(すべての方ではありませんが)これまでの家族の中での時間、世間の取り巻く環境、人との出会いとつながりなど、いろいろな要因があると思われ、私としては、複数や団体(チーム)などで、ワイワイするるのが楽しいほうなので、少し世代間のギャップを感じます。▼労働組合としても、その世代間のギャップを認識した上で、活動に多数参加してもらえようというアイデアが必要となるでしょう。当たり前の話ですが、個がバラバラですと力になりません。個を結集してこそ力になり、良いチームワークとなります。▼世代を超えた組合員が結集する労働組合に、そして、一人ひとりの心と力を組み合わせ、「労働組合があったら良かったなあ」と言える労働組合にしたいです。



てんこ盛りドらや